

広域ワイド

てんかん正しい知識を

清水区で講座 看護師が介助指導

静岡てんかん・神経医療センターと日本てんかん協会県支部は15日、市民公開講座を静岡市清水区の清水テルサで開いた。誤った認識を持つ人が多く、過去の講座でも質問や指

導の要望が多かった発作の介助について、同センターの看護師が実演指導した。約100人が参加した。看護師は、発作は「数秒から数分で治まる」として、発作を起こした患者がいたら▽騒ぎ立てず、経過を見守る▽安全な場所に移動する▽周辺の危険物を除去するーなどのポイントを伝えた。発作や発作後のもうろう状態の患者に対する介助を実演し、患者の周りの人が発作の傾向や普段行

っている対応を確認しておく必要性も呼び掛けた。

井上有史院長は「診断と治療の道すじ」と題して講演し、てんかんは国内に約100万人の患者がいる一般的な病気であることを前提に、薬の飲み方や治療の選択肢などを解説した。
(社会部・鈴木明芽)



てんかん発作への介助方法を実演する看護師
|| 静岡市清水区の清水テルサ